

第3期ふるさと秋田元気創造プラン（案）について

◎ 本県の現状と課題

全国のすう勢を上回る人口減少

- 若年層の県内定着・回帰の促進や移住の拡大
- 自然減抑制に向けた出生数等の改善

停滞する本県経済

- 県外需要を取り込み「稼ぐ力」を高める産業振興
- 県内産業の生産性の向上と高付加価値化の促進

全国的に激化する人材獲得競争

- 女性や若者に魅力ある仕事づくり
- 生産年齢人口の減少に伴う労働力不足への対応

◎ 目指す将来の姿 ～高質な田舎を目指して～

10年後の目指す姿 ～時代の変化を捉え力強く未来を切り拓く秋田～

人口減少が抑制され、地域で安心して暮らせる秋田

- ・女性や若者の県内定着が進むなど人口の社会減・自然減に歯止め
- ・県と市町村の協働や住民の共助により地域課題を克服

産業競争力が強化され魅力ある雇用が創出される秋田

- ・イノベーションの取り込み等により競争力が向上
- ・規模拡大や複合化等により農林水産業が成長産業化

交通ネットワークが確立し交流が拡大する秋田

- ・人やものの交流を支える交通ネットワークが充実
- ・秋田ならではのコンテンツによりインバウンドを含む交流人口が増大

県民が健康に生き生きと暮らし、多様な人材が育つ秋田

- ・「健康寿命日本一」を達成し、県民が生きがいや豊かさを実感しながら生活
- ・時代の変化に柔軟に対応し県内産業や地域を支える人材を育成

安全・安心で暮らしやすい秋田

- ・災害に強い強靱な県土づくりが進み地域防災力が向上
- ・自然環境の保全や野生鳥獣の適正管理等により良好な生活環境が形成

～元気な秋田の実現を目指して～

プランの推進方針

- 人口減少の克服を最重要課題に位置づけ
- 人口減少の抑制を目指す「攻め」と人口減少下にあっても県民の安全安心な生活を維持する「守り」の取組の両面から人口減少を克服
- 第4次産業革命のイノベーション等を各施策に取り込み、来たるべき「秋田新時代」に対応
- 目指す将来の姿の実現に向けて、実効性ある施策を計画的・重点的に推進

◎ 創造する元気と重点戦略

具体的な方策

秋田で創造する『4つの元気』

元気A

人口減少の抑制と
地域を守るシステムの構築

元気B

県内産業の「稼ぐ力」の向上と
質の高い雇用の創出

元気C

交流人口の拡大と
交通基盤の充実

元気D

健康で安心な生活の実現と
未来を支える人づくり

元気の創造に向けた重点戦略

秋田の未来につながる ふるさと定着回帰戦略

社会減に歯止めをかけて人口減少を抑制し、地域で安心して暮らせる社会を形成

社会の変革へ果敢に挑む 産業振興戦略

中核企業等を牽引役とした本県経済の力強い成長と質の高い雇用の創出

新時代を勝ち抜く攻めの 農林水産戦略

複合型生産構造への転換の加速化等による農林水産業の成長産業化の実現

秋田の魅力が際立つ 人・ものの交流拡大戦略

交流を支える交通ネットワークの充実と国内外からの交流人口の拡大

誰もが元気で活躍できる 健康長寿・地域共生社会 戦略

健康で心豊かに暮らす健康長寿社会の形成と、共に支え合う地域共生社会の実現

ふるさとの未来を拓く 人づくり戦略

将来の秋田を支え、未来を果敢に切り拓く気概に満ちた人材の育成

6つの重点戦略を推進する上で重要な横断的視点

女性や若者に魅力ある仕事の創出

県内産業界の即戦力となる人材の育成

高齢者等の就業促進による労働力の確保

第4次産業革命によるイノベーションの活用

◎ 県民の安全で安心な生活を支える基本政策

県土の保全と防災力強化

環境保全対策の推進

安全・安心な生活環境の確保

ICTによる便利な暮らしの実現と
地域の活性化

戦略1 秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略

【現状と課題】

- ◆ 就職・進学をきっかけとした若者の首都圏等への流出による人口の社会減
- ◆ 若年世代の人口減少や晩婚化、未婚化等に伴う人口の自然減の拡大
- ◆ 人口減少に伴う地域コミュニティの活力の低下
- ◆ 人口減少下での行政サービスの水準維持

【戦略の目標】（目指す姿）

- 若者の県内定着・回帰と県外からの移住の更なる促進を図り、社会減の縮小に向けて、本県人口の社会動態の流れを転換
- 県民の結婚や出産、子育ての希望をかなえ、「日本一子育てしやすい秋田」を実現し、自然減を抑制
- 多様な主体との協働による地域課題の解決や行政サービス水準の維持などにより、県民が安心して暮らせる地域社会を実現

【戦略の視点】

- 雇用の場の創出と、きめ細かな情報提供やマッチングにより、若者の定着・回帰を進めるとともに、本県の魅力を発信して移住を促進
- 結婚・出産・子育てについての意識の醸成を図るとともに、切れ目のない支援を実施
- 地域の活性化や、県・市町村の協働による行政サービスの維持

【施策及び数値目標】

施策1 社会減の抑制に向けた雇用の場の創出、人材育成・確保

《主な数値目標》

■ 雇用創出数

現状 (H28 実績) 2,552 人 → [目標値 (H33)] 2,985 人 など

施策2 若者の県内定着・回帰と移住の促進による秋田への人の流れづくり

《主な数値目標》

■ 人口の社会減

現状 (H27 実績) △4,100 人 → [目標値 (H33)] △2,050 人

■ 移住者数（県関与分）

現状 (H28 実績) 293 人 → [目標値 (H33)] 350 人 など

施策3 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート

《主な数値目標》

■ 婚姻件数

現状 (H28 実績) 3,510 組 → [目標値 (H33)] 3,800 組

■ 出生数

現状 (H28 実績) 5,666 人 → [目標値 (H33)] 6,000 人 など

施策4 女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現

《主な数値目標》

■ 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数（従業員数 300 人以下の企業）

現状 (H28 実績) 64 社 → [目標値 (H33)] 360 社

■ 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数（従業員数 100 人以下の企業）

現状 (H28 実績) 262 社 → [目標値 (H33)] 330 社 など

施策5 活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくり

《主な数値目標》

■ 社会活動・地域活動に参加した人の割合

現状 (H28 実績) 42.0% → [目標値 (H33)] 62.0%

■ 小さな拠点の形成数（累積）

現状 (H28 実績) 12 箇所 → [目標値 (H33)] 20 箇所 など

【施策の方向性】

- (1) 第4次産業革命に対応した産業構造の再構築等による女性や若者に魅力ある雇用の場の創出
- (2) 県内産業を支える人材の育成・確保に向けた取組

- (1) きめ細かなサポートによる大学生等の県内定着・回帰促進
- (2) 的確な情報提供をベースにした高校生の県内定着促進
- (3) 「秋田暮らし」の魅力等の移住情報の発信強化
- (4) 「あきたに住みたい、暮らしたい」を支援する体制の充実・強化

- (1) 結婚・出産・子育てに温かい社会づくり
- (2) 出会いと結婚への支援の充実・強化
- (3) 安心して出産できる環境づくり
- (4) 社会全体で子育ての安心を支える仕組みづくり
- (5) 子育て世帯への経済的支援の充実

- (1) 女性が活躍し続けられる職場づくりの推進
- (2) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組の強化
- (3) 県民が主体となった男女共同参画の推進
- (4) 次代を担う子ども・若者の活躍推進

- (1) 地域住民や市町村との連携による地域コミュニティの維持・活性化
- (2) 多様な主体との協働による地域づくりの推進
- (3) CCRC導入による元気で安心な地域づくり
- (4) 将来にわたり持続可能でコンパクトなまちづくりの推進
- (5) 県・市町村間の協働推進
- (6) インフラ施設のマネジメント強化

【主な取組】

- ・ 輸送機等成長分野関連企業の育成と産業の基盤となるICT産業の振興
- ・ 大規模園芸拠点の展開等による本県農業の複合型生産構造への転換の加速化とICT等の革新技術の農業への活用促進
- ・ 観光客の受入環境の整備と観光産業を支える人材や事業者の育成

- 新 首都圏等の大学新卒者をターゲットとした県内就職支援体制の強化
- 新 ICT分野など個別業種の人材確保・育成の取組と連携した就職支援の展開
- ・ 秋田GO!EN（ご縁）アプリによる就職情報提供と県内就職への意識付けの促進
- ・ 奨学金返還助成による県内就職の促進
- 新 県内大学既卒者のAターンの推進
- ・ 就職支援員による高校生の県内就職促進
- 新 職場定着支援員による早期離職対策の強化

- ・ 現役子育て世代や次の親世代となる若者の意見を踏まえた、結婚・子育てに係る県民運動の展開
- ・ 次の親世代となる若者を対象とした秋田での結婚や子育てライフプランを考える機会の提供
- 新 あきた結婚支援センターサテライトセンターの開設等によるマッチング機能の更なる強化
- ・ 子ども・子育て支援に携わる人材の確保と資質の向上

- ・ 経済団体、労働団体等との連携による女性活躍の意識啓発の促進
- ・ 女性の管理職登用や職域拡大等に向けて取り組む中小企業への支援
- ・ ワーク・ライフ・バランスへの全県的な気運の醸成と取組を実践する企業への支援の充実

- 新 小さな拠点形成に向けた取組への支援と地域住民が運営する「お互いさまスーパー」の拡大・機能強化
- ・ 子どもから高齢者までの多世代の交流・協働を通じた県民の社会参加の促進
- ・ 市民活動サポートセンターの充実等、多様な主体の協働促進に向けた基盤強化
- 新 地域課題の解決に向けた県・市町村の新たな協働の取組

- ・ 女性が働きやすい環境の整備に対する支援
- 新 ICT人材の確保・育成の推進
- ・ 秋田県建設産業担い手確保育成センターによる担い手の確保・育成の推進

- 新 移住情報のよりきめ細かな発信に向けた移住相談窓口の強化
- ・ 先輩移住者の体験等を生かした情報発信の強化や現地交流会の実施
- ・ 移住潜在層を対象とした「秋田ファンづくり」の強化
- ・ 移住と起業を一体的に支援するプログラムの実施
- ・ 地域と一体となった教育プログラムの提供

- 新 保育士等の処遇改善、放課後児童クラブの運営に対する支援等による「待機児童00（ゼロゼロ）」の実現
- ・ 病児保育、一時預かり等の多様な保育サービスの充実強化
- ・ 保育料助成の更なる拡大・充実
- 新 在宅を含めた子育て世帯への新たな負担軽減策の実施

- 新 「あきた女性活躍・両立支援センター（仮称）」の設置による支援体制の強化
- ・ 男女共同参画を地域でリードする人材の育成
- 新 若者等の発想や視点を生かした地域活動への支援
- ・ 子ども・若者が健やかに成長できる環境の整備

- ・ 地域の実情やニーズを踏まえたCCRCの導入促進
- 新 都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成の推進
- 新 まちづくりを担う人材の育成・発掘と官民連携によるリノベーションの推進
- ・ 生活排水処理施設の再編や汚泥処理施設の広域化

戦略2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略

【現状と課題】

- ◆ 今後、産業振興を図る上では、第4次産業革命のイノベーションの活用とICT人材の確保・育成が必要
- ◆ 産業人材の獲得競争が顕在化する中、多様な人材の活躍を可能とする「働き方改革」の促進が必要
- ◆ 成長分野への参入促進や中核企業の創出により、付加価値生産性が高く環境変化に柔軟に対応する重層的な産業構造を構築することや、付加価値の高い製品・サービスの開発により下請型・加工組立型の体質を改善することが必要
- ◆ 人口減少等により、県内・国内市場が縮小する中、東アジアや東南アジア等の成長市場を取り込み、経済を拡大することが必要

【戦略の目標】（目指す姿）

- 成長分野の発展と中核企業の創出による県内企業の付加価値生産性の向上と地域経済循環の活性化
- 中小企業の持続的な発展による地域経済の活性化と安定的な雇用の創出
- 東アジア・東南アジア等の成長市場と国内需要の取り込みによる県内経済の拡大
- 多様な働き方により多様な人材が活躍する「働きやすい秋田」を実現

【戦略の視点】

- 製造業のみならず、広範な産業分野において、第4次産業革命のイノベーションを念頭においた生産性や付加価値の向上、新たな製品・サービスの創出を促進
- 成長分野への参入の促進や企業間連携によるサプライチェーンの形成促進、コネクターハブ機能を担う中核企業の育成
- 「秋田県中小企業振興条例」に基づくきめ細かな支援により、変革する社会で意欲的に挑戦する企業を後押し
- 企業の海外展開の促進や物流ネットワークの整備推進、成長が見込まれる分野や先進的な取組を進めるベンチャー企業の誘致推進
- 「働き方改革」の促進や第4次産業革命の進展により重要となるICT人材など、社会のニーズに対応した人材の確保・育成

【施策及び数値目標】

施策1 成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成

《主な数値目標》

- 輸送用機械器具製造業の製造品出荷額
現状(H28実績) 1,124億円 → [目標値(H33)] 1,372億円
- 医療機器関連製造業の製造品出荷額等（従業員4人以上の事業所）
現状(H27実績) 548億円 → [目標値(H33)] 660億円 など

施策2 中小企業・小規模企業者の活性化と生産性向上

《主な数値目標》

- 製造品出荷額等（従業員4人以上の事業所）
現状(H27実績) 1兆2,153億円 → [目標値(H33)] 1兆4,037億円
- 製造品付加価値額（従業員4人以上の事業所）
現状(H27実績) 4,739億円 → [目標値(H33)] 5,474億円 など

施策3 国内外の成長市場の取り込みと投資の促進

《主な数値目標》

- 秋田港国際コンテナ取扱量（実入り）
現状(H28実績) 50,776TEU → [目標値(H33)] 64,500TEU
- 企業の誘致件数及び誘致済企業の施設・設備の拡充件数
現状(H28実績) 22件 → [目標値(H33)] 26件 など

施策4 産業人材の確保・育成と働きやすい環境の整備

《主な数値目標》

- 成長産業等における雇用創出数
現状(H28実績) 1,691人 → [目標値(H33)] 2,010人
- 若者や女性等の働きやすい環境の整備に取り組む企業数
現状(H28実績) 330社 → [目標値(H33)] 759社 など

【施策の方向性】

- (1) 競争力強化による航空機産業と自動車産業の成長促進
- (2) 地域資源を活用した新エネルギー関連産業の振興
- (3) 産学官連携による医療福祉関連産業の育成
- (4) 大規模市場へ参入する情報関連産業の振興
- (5) コネクターハブ機能を担う中核企業の育成と技術イノベーションの創出
- (6) 県内外の知見を取り込んだ科学技術の活用

- (1) 持続的発展に向けた企業の経営基盤の強化
- (2) 将来を見据えた起業の促進と事業承継の推進
- (3) 多様化する消費者ニーズや物流に対応した商業・サービス業の振興
- (4) 歴史に磨かれた伝統的工芸品等産業の活性化
- (5) 食品製造業の競争力強化
- (6) 地域を支える建設産業の振興

- (1) 成長する東アジア・東南アジア等との経済交流と企業の海外展開支援
- (2) 環日本海交流や地域の拠点となる港湾の機能強化
- (3) 成長産業等の誘致と企業の投資促進
- (4) 環境・リサイクル産業の集積促進

- (1) 多様な人材の活躍を可能にする「働き方改革」の促進と県内就職促進
- (2) 社会のニーズや就業構造の変革に対応した産業人材の確保・育成
- (3) 建設人材の確保・育成
- (4) きめ細かなサポートによる大学生等の県内定着・回帰促進（再掲）
- (5) 的確な情報提供をベースにした高校生の県内定着促進（再掲）
- (6) 地元企業等とのネットワークを生かした、社会の要請に応える専門教育の充実（再掲）

【主な取組】

- ・ 航空機主要構造材向け複合材の低コスト製造技術開発と製造拠点の創出
- ・ EV化対応など自動車関連企業の競争力強化によるサプライチェーンの形成
- ・ 風力発電事業等への県内企業の参入促進
- ・ 医療機器メーカーの研究開発拠点の創出促進とサプライチェーンの形成
- ・ 産学官連携等による新技術・新商品の研究開発促進

- ・ コネクターハブ機能の強化・創出を伴う取組への重点的な支援
- 新IoT・AI技術等の普及促進と先導的な研究開発の推進
- 新IoT・AI技術等を活用した生産性向上や新製品の開発を支援

- 新小規模企業者が行う販路開拓及び生産性向上に向けた取組への支援
- ・ 産業技術センターによるきめ細かな技術指導や共同研究による製品開発の促進
- ・ 高校生や大学生等を対象とした起業体験の実施等による若者の起業家意識の醸成

- ・ IoT・ビッグデータ等を活用した新ビジネスの創出支援
- ・ 地域資源を活用した新商品や新サービスの開発支援
- 新女性・若者起業家の事業拡大に向けた支援
- 新ICT建設機械等を活用した建設工事の推進

- ・ 県内企業の継続的な海外取引に向けた専門家や貿易支援機関による集中的な支援
- ・ 海外サポートデスクによる企業の現地支援
- 新新たな秋田港港湾計画に基づく事業推進
- ・ 新規荷主の開拓や新規航路開設に向けた県内外へのポートセールス

- ・ 本社機能移転に対する支援
- ・ 環境・リサイクル関連の新規ビジネス創出への支援
- 新IoTやAI等の先進的なベンチャー企業の誘致

- 新第二新卒等の若者に対する地元企業の魅力発信力の強化
- ・ Aターン就職の求人開拓及びマッチング支援
- 新首都圏の大学新卒者をターゲットとした県内就職支援体制の強化
- ・ 職場定着支援員による早期離職の防止
- ・ 秋田GO!EN（ご縁）アプリによる就職情報の提供

- 新働き方改革に取り組む企業に対する支援
- 新ICT人材の確保・育成の推進
- ・ 女性が働きやすい環境の整備を積極的に実施する企業に対する支援
- ・ 高校における航空機及び情報関連産業人材の育成

戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

【現状と課題】

- ◆複合型生産構造への転換の加速化
 - ・メガ団地等の大規模園芸拠点の全県展開による産地拡大
 - ・秋田牛ブランドを支える肥育素牛の生産体制強化
- ◆米政策の見直しに対応した攻めの米づくりの推進
 - ・県産米シェアの拡大や高まる業務用需要等への対応
- ◆地域農業を牽引する担い手の育成
 - ・経営規模の拡大や複合化の推進による経営基盤の強化
 - ・多様なルート、幅広い年齢層からの新規就農者の確保
- ◆農産物の販売力強化に向けた流通・販売体制の整備
 - ・企業による産地囲い込みなど新たな動きへの対応
- ◆地域を生かす中山間地対策
 - ・中山間地域の資源を生かした特色ある取組の拡大
- ◆「ウッドファーストあきた」の促進
 - ・競争力の高い木材・木製品による新たな市場の開拓
- ◆水産物のブランド確立と新たな水産ビジネスの展開
 - ・つくり育てる漁業による資源増大・収益アップ

【戦略の目標】（目指す姿）

- 国の農政改革等による産地間競争の激化や、人口減少を背景とした労働力不足など、社会情勢の変化への的確な対応による農林水産業の成長産業化
- 着実に成果が現れてきている「米依存からの脱却」、「複合型生産構造への転換」に向けたこれまでの取組をもう一段ステップアップし、本県農業の構造改革を実現
- 林業・木材産業については、木材の新たな市場の開拓等による需要拡大や、川上から川下まで競争力の高い木材・木製品の安定的な供給体制の整備による全国屈指の木材総合加工産地としての更なる発展
- 「全国豊かな海づくり大会」等を契機として、本県水産業の魅力を全国に発信するとともに、リニューールされる水産振興センター栽培漁業施設を活用したつくり育てる漁業の推進等による浜の活性化

【戦略の視点】

- 農政改革や国際通商協定の締結等による産地間競争の激化を見据えた、生産から流通・販売にわたる構造改革の継続的な推進
- 労働力人口の減少を背景とした、我が国の労働集約型産業等における構造的な人手不足への対応
- ICTやAI、ロボット等の革新技術を駆使し、生産性が飛躍的に向上する次世代型農林水産業への取組に挑戦

【施策及び数値目標】

施策1 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成

《主な数値目標》

- 農業法人数（認定農業者）
現状（H28実績） 576 法人 → [目標値（H33）] 850 法人
- 担い手への農地集積率
現状（H28実績） 73.2% → [目標値（H33）] 83.0%

など

施策2 複合型生産構造への転換の加速化

《主な数値目標》

- 主要園芸品目の系統販売額
現状（H28実績） 160 億円 → [目標値（H33）] 212 億円
- 畜産産出額
現状（H27実績） 352 億円 → [目標値（H33）] 411 億円

など

施策3 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用

《主な数値目標》

- 全国に占める秋田米のシェア
現状（H27実績※） 5.47% → [目標値（H33）] 5.66%
※H23～27年の最高と最低値を除いた3年平均
- 米の生産費（10ha以上の作付規模の全算入生産費）
現状（H27実績） 10,500 円/60kg → [目標値（H33）] 9,000 円/60kg

など

【施策の方向性】

- (1) 秋田の農業をリードする競争力の高い経営体づくり
- (2) 幅広い年齢層からの新規就業者の確保・育成
- (3) 多様なルートから秋田に呼び込む移住就業の促進
- (4) 農業労働力の安定確保と農作業軽労化の促進
- (5) 秋田で活躍する女性の活動支援

- (1) 大規模園芸拠点を核とした戦略作物の更なる生産拡大
- (2) 「しいたけ」や「えだまめ」など日本一を目指す園芸産地づくり
- (3) 秋田のオリジナル品種による果樹・花きの生産振興
- (4) 大規模畜産団地の全県展開
- (5) 秋田牛や比内地鶏など秋田ブランドによる畜産振興
- (6) 先端技術と融合したアグリテックによる生産効率の向上
- (7) 秋田の農林水産業の発展を支える研究開発の推進

- (1) 業務用や特定需要など実需と結びついた米づくりの推進
- (2) 次代を担う秋田米新品種デビューと販売対策の強化
- (3) 省力化技術やICT導入による超低コスト稲作経営の確立
- (4) 複合型生産構造への転換を支える基盤整備の促進
- (5) 水田フル活用による自給力の向上

【主な取組】

- ・大規模農業法人等トップランナーの育成 **新** 先進的な労働力調整モデルの展開とサポート体制の構築
- ・秋田林業大学校の充実・強化による即戦力となる人材の育成 **新** パワーアシストスーツの導入等による園芸軽労化の促進
- 新** 幅広い年齢層を含む多様なルートからの新規就農者の確保・育成 **・** アグリビジネスを通じた女性が活躍できる環境づくり

- ・メガ団地等の大規模園芸拠点の全県展開 **・** 国内外における秋田牛の認知度向上
- 新** 「しいたけ」「えだまめ」の更なる生産拡大と「ねぎ」「ダリア」など、新たな品目の販売促進 **・** 比内地鶏の品質の高位平準化や、食味の高さなどのストロングポイントの訴求
- ・市場評価の高い果樹・花きの県オリジナル品種の生産拡大と販売促進 **新** スマート農業による園芸生産システムの実証・普及
- ・大規模畜産団地による収益性の向上と生産力の強化 **新** 先端技術を活用した新たな果樹生産システムの実証・普及

- 新** 販売を起点とした秋田米生産・販売戦略の推進 **・** 最新技術を駆使した高品質・低コスト生産技術体系の確立
- 新** 業務用や酒米など、多様なニーズに機動的に対応できる米産地の確立 **・** 産地づくりと一体となったほ場整備の推進
- 新** 秋田米をリードする新品種の開発とデビュー対策の実施 **・** 高品質・高収量を実現する地下かんがいシステム等の整備
- ・** 非主食用米や大豆等を組み合わせた生産性の高い水田フル活用の推進

【施策及び数値目標】

施策4 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化

《主な数値目標》

■6次産業化事業体販売額

現状(H27実績) 143億円 → [目標値(H33)] 200億円

■農産物の輸出額

現状(H28実績) 106百万円 → [目標値(H33)] 131百万円
など

施策5 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化

《主な数値目標》

■素材生産量(燃料用含む)

現状(H28実績) 1,470千m³ → [目標値(H33)] 1,700千m³

■スギ製品出荷量

現状(H28実績) 591千m³ → [目標値(H33)] 706千m³
など

施策6 つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興

《主な数値目標》

■海面漁業協同組合員1人当たりの漁業生産額

現状(H28実績) 2,880千円 → [目標値(H33)] 3,170千円

■つくり育てる漁業の対象魚種の漁業生産額

現状(H27実績) 9.7億円 → [目標値(H33)] 10.7億円
など

施策7 地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり

《主な数値目標》

■中山間地域資源活用プラン策定地域数(累積)

現状(H28実績) 37地域 → [目標値(H33)] 60地域

■水と緑の森づくり推進事業参加者数(累積)

現状(H28実績) — 百人 → [目標値(H33)] 847百人

※目標値は、H30年度以降に始まる「秋田県水と緑の森づくり税事業」

第3期5箇年計画(H30～34)を基に新規設定

など

【施策の方向性】

- (1) 異業種連携による6次産業化の促進
- (2) 企業とタイアップした流通・販売体制の構築
- (3) 秋田の強みを生かした農林水産物の輸出促進
- (4) G A P等による安全・安心対策の強化と環境保全型農業の推進

- (1) 秋田スギを活用した新たな木質部材等による需要拡大
- (2) 林業の成長産業化に向けた生産・流通体制の強化
- (3) 産地間競争に打ち勝つ木材総合加工産地づくりの推進
- (4) 次代の秋田の林業をリードする人材育成

- (1) つくり育てる漁業の推進による水産資源の維持・増大
- (2) 秋田の海・川資源を生かした水産ビジネスの展開
- (3) 次代を担う漁業者の確保・育成
- (4) 漁港等生産基盤の整備促進
- (5) 「全国豊かな海づくり大会」等を契機とした水産業の活力向上

- (1) 多様な資源を生かした地域ビジネスの展開
- (2) 里地里山の保全管理と鳥獣被害対策の強化
- (3) 森林の多面的機能の高度発揮
- (4) 地域を守る防災・減災対策と施設の保全管理の強化

【主な取組】

- ・ J Aによる6次産業化の促進と異業種連携の強化
- ・ 中食・外食企業等との連携による流通・販売体制の構築
- ・ 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした県産材の供給拡大
- ・ ターゲットを絞った秋田の農林水産物の輸出促進
- 新 秋田スギ家具をはじめとする県産材の海外展開
- 新 農業生産工程管理(G A P)の普及拡大
- ・ 秋田の食の魅力発信と地産地消の推進

- ・ 県民に対する木材の優先利用の普及
- 新 新たな木質部材の開発・普及と木質構造等に精通した人材育成
- ・ 路網と高性能林業機械の整備促進
- 新 丸太の用途別需要に応じた流通システムの整備
- 新 皆伐・再造林の取組推進
- ・ 木材加工施設の整備・拡充による生産力の強化と低コスト供給体制の構築

- ・ 収益性の高い種苗の生産・放流による資源の維持・増大
- 新 栽培漁業施設の整備と機能強化
- 新 科学的データに基づく適切な資源管理による漁獲量の安定化
- ・ 秋田の地魚を使った加工品開発の促進と販路拡大
- ・ 就業相談から自立経営までの一貫支援による漁業者の確保・育成
- ・ 次代を担う中核的な漁業者の確保・育成
- ・ 漁港施設の計画的な整備と長寿命化等の促進
- 新 地魚や漁村文化等の魅力発信と未来への継承

- ・ 中山間地域の資源を生かした取組への支援
- ・ 農家レストランや農家民宿など多様なアグリビジネスの取組拡大
- 新 条件不利地域における営農継続に向けた支援
- ・ 農作物の鳥獣被害対策の強化
- ・ 農山漁村の地域コミュニティの持続的な発展を支える仕組みづくり
- ・ 松くい虫やナラ枯れ被害等の森林病虫害対策の推進
- ・ 生命と財産を守る安全・安心な地域づくり

戦略4 秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略

【現状と課題】

- ◆ 本県への観光入込が伸び悩む状況において、訪れてみたいと思わせる観光地づくりを推進することが必要
- ◆ 県産食品群のブランド化と販路の拡大を進めることが重要
- ◆ 文化とスポーツを振興し地域活性化につなげる取組が必要
- ◆ 交通網の利便性向上と持続可能な地域交通の構築が不可欠

【戦略の目標】（目指す姿）

- 本県が多くの観光客に選ばれることにより、国内外からの誘客が拡大
- 県産食品の販路拡大等が進み、「食」がリードする秋田の活性化が進展
- 文化やスポーツによる交流人口の拡大が図られるとともに、多彩な文化・芸術の継承や、本県スポーツの競技力向上などが進展
- これらの活発な交流の基盤となる交通ネットワークが拡充・発展

【戦略の視点】

- 地域の関係者との連携により、本県ならではの魅力が際立つ誘客コンテンツづくりを進め、「総合的な誘客力」を強化
- 幅広い事業者と連携し、本県の食の柱となるアイテムを育成
- 東京オリ・パラを契機とした、文化の発信とスポーツ交流を促進
- 今後の技術革新を見据え、利便性の高い交通ネットワークを構築

【施策及び数値目標】

施策1 地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化

《主な数値目標》

- 観光地点等入込客数（延べ人数）
現状（H28実績） 31,596千人 → [目標値（H33）] 34,500千人
- 外国人延べ宿泊者数（年間）
現状（H28実績） 66,950人泊 → [目標値（H33）] 200,000人泊 など

施策2 「食」がリードする秋田の活性化と誘客の推進

《主な数値目標》

- 食料品・飲料等製造品出荷額等
現状（H27実績） 1,205億円 → [目標値（H33）] 1,300億円 など

施策3 文化の発信力強化と文化による地域の元気創出

《主な数値目標》

- 文化事業への来場者数
現状（H28実績） 449,311人 → [目標値（H33）] 470,000人 など

施策4 「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大

《主な数値目標》

- 成人の週1回以上のスポーツ実施率
現状（H28実績） 49.5% → [目標値（H33）] 65.0% など

施策5 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備

《主な数値目標》

- 県内高速道路の供用率
現状（H28実績） 90% → [目標値（H33）] 92% など

施策6 交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築

《主な数値目標》

- 秋田県と県外間の旅客輸送人員数
現状（H27実績） 5,392千人 → [目標値（H33）] 5,567千人 など

【施策の方向性】

- (1) 国内外からの観光客に選ばれる誘客コンテンツづくりの推進
- (2) 観光客のニーズに対応した受入態勢の整備と、観光人材・事業者の育成
- (3) ターゲットを見据えた誘客プロモーションの展開
- (4) 多様なメディアや新たな手法を活用した秋田ファンの拡大
- (5) 国内外のクルーズ船の誘致と受入環境の整備

- (1) 秋田の「食」の柱となるオリジナル商品の開発とブランディング
- (2) 食品製造業の競争力強化（再掲）
- (3) 幅広いパートナー企業や流通チャネルを活用した販路の拡大
- (4) エリアやターゲットを戦略的に選定した秋田の「食」の輸出拡大と、独自性の高い誘客コンテンツとしての活用

- (1) 秋田ならではの文化資源のPRと、文化を通じた交流人口の拡大
- (2) 文化団体の活動促進と次代を担う人材の育成
- (3) 本県文化の中核拠点となる文化施設の整備

- (1) 東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした、スポーツによる地域活性化と交流人口の拡大
- (2) 全国や世界のひのき舞台上で活躍できる選手の発掘と育成・強化
- (3) ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の促進
- (4) 地域のスポーツ活動の基盤となる人材の育成と環境の充実

- (1) 交流や経済を支える高速道路網の形成
- (2) 高速道路を補完し、広域交流を促進する幹線道路網の形成
- (3) 物流・交流拠点へのアクセス機能の強化
- (4) 日々の暮らしを支える生活道路の機能強化
- (5) 地方創生の拠点としての「道の駅」の魅力の向上

- (1) 秋田への流動を支える幹線鉄道等の整備促進と利便性の向上
- (2) 空の玄関口を生かした国内外との流動の促進
- (3) 技術革新等を見据え地域の実情に応じた多様な地域公共交通の確保
- (4) 第三セクター鉄道の運行確保と観光誘客への活用

【主な取組】

- ・ 見て、触れて、楽しめる、秋田ならではの体験型観光の推進
- ・ 宿泊施設の魅力づくりや観光事業者等によるおもてなしの充実
- ・ 観光客の旅の満足度の向上に向けた受入環境の整備と充実
- 新 オープンデータやビッグデータを活用した新たな情報提供システムの導入促進

新 最新技術による多言語翻訳機能等の利活用の促進

新 デジタルマーケティングなど新たな手法を活用した情報発信の最適化

・ 官民一体によるクルーズ船の誘致と、本県への寄港の増加に対応した受入環境の整備

- ・ 日本酒や発酵食品等の更なる高品質化とブランド力の強化
- 新 米菓や米加工品等が新たなリーディング品目となることを目指した集中的な支援
- 新 首都圏等に向けた流通ルートの見直し等による本県の食品流通に係る課題への対応

新 通信販売やデジタルマーケティング等、新たな手法を採り入れた販路拡大

新 発酵食など本県独自の食文化の観光コンテンツとしての磨き上げと、誘客への活用

- ・ 東京オリ・パラを契機とした県内の多彩な文化事業への支援と国内外への発信
- 新 国が日本文化の魅力をオールジャパンで発信する「beyond2020 プログラム」の積極的な活用

・ 若者をはじめとした多くの県民が参加・活動しやすい環境の整備と地域における活動支援

・ 本県文化の中核拠点となる県・市連携文化施設の整備

新 県民会館閉館中の文化団体の活動促進

- ・ 東京オリ・パラ等の開催に向けた海外からの事前合宿誘致
- ・ ホストタウン等を基盤とした海外とのスポーツ交流の促進
- ・ ジュニア層の強化を競技力向上の柱に据えた一貫指導体制の確立

・ 高齢者の健康増進を図る「円熟体操」の普及など、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の促進

・ 県有スポーツ施設の計画的な整備・改修

新 ホームタウンやチーム等とともに、新たなスタジアムの整備に向けた取組を推進

- ・ 日本海沿岸東北自動車道、東北中央自動車道の事業中区間の整備促進
- ・ 国道46号「盛岡秋田道路」の整備促進
- ・ 国道105号「大曲鷹巣道路」（大覚野峠）の整備促進

・ 国道101号、108号、398号等の整備推進

新 秋田自動車道の4車線化の整備促進

新 秋田港アクセス道路（仮称）の整備促進

新 道の駅の基本機能の強化や、個性創出に向けた計画策定、人材育成の支援

- ・ 奥羽・羽越新幹線の整備計画への格上げを目指した調査・研究と国等への提案
- 新 LCCなど新規国内航空路線や、新たな国際定期航空路線の誘致に向けた取組の推進
- ・ 秋田ソウル国際定期便の再開への取組強化

・ 自動運転などの技術革新も見据えた持続可能で多様な公共交通ネットワークの形成

新 NPOや自治会による公共交通空白地有償運送など住民共助の移動手段の構築への支援

・ マイレール意識の高揚やブランド価値の向上等による第三セクター鉄道の利用の促進

戦略5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略

【現状と課題】

- ◆ がん、脳血管疾患等の生活習慣病や自殺による死亡率が依然として高く、心と体の健康づくりが不十分
- ◆ 高齢者等の医療ニーズに対応した医療提供体制が未整備であるほか、介護・福祉分野において人手不足が深刻
- ◆ 障害者や認知症等高齢者などへの理解を深める必要

【戦略の目標】（目指す姿）

- 県民一人ひとりが健康寿命を延伸し、生きがいや豊かさを実感しながら暮らせる健康長寿社会を実現
- 全ての人が地域で活躍し、共に支え合いながら安心して暮らせる地域共生社会を実現

【戦略の視点】

- 健康寿命の延伸に向けて、県民一人ひとりの健康意識を高め、行動変容につなげるための、心と体の健康づくりに向けた取組の強化
- 高齢者等が安心して暮らしていくため、ニーズに対応した医療や、医療・介護・福祉の連携によるサービス提供体制の整備と地域での支え合いの促進

【施策及び数値目標】

施策1 健康寿命日本一への挑戦

《主な数値目標》

■健康寿命

現状 (H25 実績) 男性 70.71 年 女性 75.43 年
→ [目標値 (H33)] 男性 72.52 年 女性 75.78 年

■要介護2以上の者（65歳以上75歳未満）が被保険者に占める割合

現状 (H29 実績) 2.13% → [目標値 (H33)] 1.93% など

施策2 心の健康づくりと自殺予防対策

《主な数値目標》

■自殺による人口10万人当たり死亡率

現状 (H28 実績) 23.8 → [目標値 (H33)] 20.1

■自殺者数（年間）

現状 (H28 実績) 240 人 → [目標値 (H33)] 190 人以下 など

施策3 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備

《主な数値目標》

■脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率

現状 (H28 実績) 37.9 → [目標値 (H33)] 30.9

■がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率

現状 (H28 実績) 87.4 → [目標値 (H33)] 79.8 など

施策4 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実

《主な数値目標》

■介護施設等の介護職員数

現状 (H28 実績) 20,891 人 → [目標値 (H33)] 24,400 人

■手話教室を実施する小学校数（年間）

現状 (H28 実績) - 校 → [目標値 (H33)] 25 校 など

施策5 次代を担う子どもの育成

《主な数値目標》

■里親委託児童数

現状 (H28 実績) 16 人 → [目標値 (H33)] 31 人

■生活保護世帯の子どもの高校進学率

現状 (H28 実績) 96.2% → [目標値 (H33)] 99.2%

【施策の方向性】

- (1) 健康づくり県民運動の推進
- (2) 食生活改善による健康づくりの推進
- (3) 運動による健康づくりの推進
- (4) 喫煙・受動喫煙・アルコール対策の強化
- (5) 歯科口腔保健の推進
- (6) 特定健診やがん検診の受診率の向上
- (7) 高齢者の健康維持と介護予防の推進

- (1) 普及啓発活動と相談体制の充実
- (2) 心の健康対策の充実
- (3) 地域における取組支援と自殺未遂者支援

- (1) 地域医療を支える人材の育成・確保
- (2) 高齢化に対応した医療体制の整備
- (3) がん診療体制の充実と患者支援
- (4) 救急・周産期医療提供体制の強化
- (5) 在宅医療提供体制の整備の促進
- (6) 医療機能の分化・連携の促進

- (1) 地域包括ケアシステムの構築を通じた高齢者等を支え合う地域づくり
- (2) 介護・福祉の人材の育成・確保
- (3) 介護・福祉の基盤整備
- (4) 高齢者の生きがいの推進
- (5) 認知症の人や家族を地域で支える体制の強化
- (6) 障害への理解と障害者の地域生活・社会参加に向けた環境づくり
- (7) ひきこもり状態にある人の社会とのつながりの支援

- (1) 里親委託の推進
- (2) 児童虐待への対応の強化
- (3) 子どもの貧困対策の強化
- (4) 学校との連携による健康・心の教育の推進

【主な取組】

- ・ 「健康寿命日本一」に向け、県民一人ひとりの取組を支援する県民運動の展開
- 新 大学、医療保険者等との連携による医療費・健診データの分析や研究に基づく健康づくりの推進
- ・ 医療保険者、経済団体等との連携による企業における「健康経営」の促進
- 新 ICTを活用した健康情報の発信や健康ポイント制度の導入支援

- ・ 学校との連携による命の教育の充実
- ・ 児童・生徒の自殺予防に向けた「自らを守る力」と「周囲の人の気付き力」の強化
- 新 がん患者、慢性疾患患者等の心のケアの強化
- ・ 県地域自殺対策推進センターを中心とした連携体制の強化による効果的・効率的な自殺対策の推進

- ・ 研修医の確保と定着に向けた初期臨床研修及び専門研修体制の充実
- 新 高齢者に特有の疾患等の予防・治療や医療機器開発の研究推進
- ・ がん診療連携拠点病院等の機能等強化
- ・ 地域救命救急センターの未整備地域の解消に向けた取組の推進
- ・ 情報システムの活用による多職種連携の推進

- 新 地域包括ケアシステムにおける推進リーダーの育成
- 新 地域共生社会の実現に向けた住民等による地域活動と包括的な支援体制づくりの促進
- ・ 女性や若い世代への介護・福祉の仕事の理解促進と新規就労の支援
- 新 高齢者等が福祉分野で活躍できる環境づくりの推進
- ・ 職員の処遇改善や育成等に積極的な事業所を県が認証する「介護サービス事業所認証評価制度」の普及促進
- 新 職員の負担軽減に向けた介護ロボット等の導入支援

- ・ 里親の開拓から児童の自立支援までの一貫したサポート体制の構築
- ・ 児童虐待に関わる各機関との連携強化と児童相談所の相談・一時保護機能の強化
- 新 生活保護世帯やひとり親世帯等の高校生、高校中退者等への進学支援

- ・ 食生活や運動習慣の改善に向け、地域で活躍する人材の育成
- 新 たばこによる健康被害防止のための総合的対策の推進
- ・ ねんりんピック秋田大会を契機とした健康・生きがいづくりへの支援
- ・ ロコモティブシンドローム・フレイル予防に向けた啓発や「円熟体操」の普及

- ・ 「心はればれゲートキーパー」の養成による、身近で気付き、見守り、つなぐ体制の強化
- 新 自殺未遂による救急患者に対する医療・保健の連携体制の構築と対応力強化

- 新 高齢者施設等近接型の診療所の整備推進
- 新 急性期脳卒中診療における機能分化・連携のための遠隔画像連携システムの整備
- ・ 患者の負担軽減と医療の効率化に向けたICTを活用した地域医療ネットワークの拡大
- ・ 回復期病床などの不足している機能の充実

- ・ 介護事業所内保育所の運営支援
- 新 世代間交流を通じたシニア世代から若者や子どもたちへの知恵や経験等の伝承
- ・ 認知症医療の中核的な機関である「認知症疾患医療センター」と関係機関との連携体制の強化支援
- ・ 障害への差別や偏見をなくす「こころのバリアフリー」の推進
- ・ 手話教室の開催等による手話・点字等の普及啓発
- ・ ひきこもり相談支援センターを核とした支援の充実

- ・ 地域における支援のつなぎの役割を担う「コーディネーター」の養成
- ・ 子ども食堂やフードバンク等における活動の活性化に向けた支援

戦略6

ふるさとの未来を拓く人づくり戦略

【現状と課題】

- ◆学力に関する調査結果は良好であるが、より一層思考力、判断力、表現力等を高めていくことが必要
- ◆学校生活や学びに対する目的意識の希薄さや早期離職者の問題が指摘されており、キャリア教育の一層の充実が必要
- ◆持続的で魅力ある地域の創出などの課題解決に向け、大学等の資源を活用した支援が必要

【戦略の目標】（目指す姿）

- ふるさとを愛し、秋田を支える自覚と未来を切り拓く気概に満ちた、確かな学力・豊かな心・健やかな体を備えた人材の育成
- 実践的な英語力や問題解決力をもとより、国際感覚や世界的視野を身に付けたグローバル社会で活躍できる人材の育成
- 地域のニーズを敏感に捉えながら、県内産業や地域社会を将来にわたって発展させるための、大学等による教育・研究・社会貢献活動の充実

【戦略の視点】

- 家庭や地域との連携・協働を図りながら、教育活動全体を通じて児童生徒一人一人の「生きる力」を育成
- 学校生活から社会への円滑な移行、技術革新やグローバル化の進展に伴う産業構造の変化等へ対応
- 地（知）の拠点としての機能強化に向け、大学等が自ら意欲を持って行う自主的・自律的な取組を支援

【施策及び数値目標】

施策1 自らの未来を主体的に切り拓き、秋田を支える気概に満ちた人材の育成

《主な数値目標》

- 高校生の県内就職率（公私立、全日制・定時制）
現状（H28実績） 65.0% → [目標値（H33）] 74.0%
- 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小6、中3）
現状（H29実績） 85.6% → [目標値（H33）] 90.0% など

施策2 子ども一人一人に応じた教育の充実と確かな学力の定着

《主な数値目標》

- 授業で自分の考えを発表する機会がよくあると思う児童生徒の割合（小4～中2）
現状（H28実績） 91.0% → [目標値（H33）] 92.0%
- 国公立大学希望達成率（公私立、全日制）
現状（H28実績） 54.0% → [目標値（H33）] 59.0% など

施策3 世界で活躍できるグローバル人材の育成

《主な数値目標》

- 英検3級以上相当の英語力を有する中学3年生の割合
現状（H28実績） 37.1% → [目標値（H33）] 62.0%
- イングリッシュキャンプに参加した児童生徒数
現状（H29実績） 740人 → [目標値（H33）] 800人 など

施策4 豊かな人間性と健やかな体の育成

《主な数値目標》

- 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合（小6、中3）
現状（H29実績） 83.0% → [目標値（H33）] 85.4%
- 運動やスポーツをすることが「好き」な児童生徒の割合（小5、中2）
現状（H29実績） 65.6% → [目標値（H33）] 70.0% など

施策5 子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場づくり

《主な数値目標》

- 授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合（小6、中3）
現状（H29実績） 83.8% → [目標値（H33）] 84.0%
- 地域と連携して防災訓練等を実施する学校の割合（公立、幼・小・中・高・特支）
現状（H28実績） 41.1% → [目標値（H33）] 60.0% など

施策6 地域社会と産業の活性化に資する高等教育機関の振興

《主な数値目標》

- 県内高等教育機関による県内企業等との共同研究・受託研究数
現状（H28実績） 89件 → [目標値（H33）] 100件
- 県内高卒者の県内大学・短大への進学率
現状（H29実績） 28.4% → [目標値（H33）] 30.0% など

施策7 地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供

《主な数値目標》

- 芸術・文化施設をセカンドスクール的に利用した小・中学生の割合
現状（H28実績） 26.6% → [目標値（H33）] 31.0%
- 国・県指定等文化財の件数
現状（H28実績） 758件 → [目標値（H33）] 776件 など

【施策の方向性】

(1) ふるさと教育を基盤としたキャリア教育の充実

(2) 地元企業等とのネットワークを生かした、社会の要請に応える専門教育の充実

(1) 子ども一人一人に目を配り、その多様性に応えるきめ細かな特色ある教育の推進

(2) 自分で考え、表現し伝え合う能力の育成

(3) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

(4) 就学前教育・保育の充実と小学校教育との円滑な接続

(5) 将来を牽引する科学技術人材の育成

(1) 「英語力日本一」に向けた実践的な英語教育の推進

(2) 学校等における多様な国際教育の展開

(3) 多様な国際交流及び国際理解の推進と多文化共生社会の構築

(1) 規範意識や他人への思いやりなど豊かな心の育成

(2) 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築

(3) 生涯にわたってたくましく生きるための健やかな体の育成

(1) 質の高い学習の基盤となる教育環境の整備

(2) 学校・家庭・地域の積極的な連携と協働による、子どもを育み家庭を支援する体制の構築

(1) 特色ある資源を活用した教育・研究・社会貢献活動の充実

(2) 次代を担う優れた学生の確保と卒業生の県内定着の促進

(1) 多彩な学びの場づくりと学びを生かした地域づくりの推進

(2) 良質な芸術・文化体験機会の充実と文化遺産の保存・活用

【主な取組】

- ・地域の担い手としての力を育成する起業体験活動や地域の伝統を受け継ぐ活動の推進
- 新 児童生徒と県内企業等を結ぶウェブサイトの開設と着実な運用
- ・就職支援員及び職場定着支援員との協力による職場定着支援

- ・航空機関連の専門カリキュラムの充実
- ・最新の専門知識や技術・資格等を有する社会人による授業の実施
- ・地域企業の情報技術者による実技等の実施
- ・地域の未来を切り拓くビジネスプランニング教育の推進

- ・学習状況調査等を活用した学力向上を図る取組の推進
- ・小・中学校における少人数学習の運用改善
- 新 高等学校における少人数学級の推進と探究型授業の展開
- ・医療、福祉、労働機関等との連携や教員研修の充実等による特別支援体制の強化

- 新 市町村への教育・保育アドバイザー配置など就学前教育・保育と小学校教育の接続支援
- 新 プログラミング教育推進に向けた環境整備
- ・スーパーサイエンスハイスクール指定校での研究成果を活用した学習活動の推進
- ・博士号教員による課題研究等指導の充実

- ・英語学習における、小・中・高一貫した学習到達目標の設定
- 新 ICTや留学生等の活用による多様な国際交流の推進
- 新 高校生の海外留学への支援など海外における異文化体験活動の促進

- ・英語指導力向上のための実践的研修の充実
- ・児童生徒の発達段階に応じたイングリッシュキャンプの実施
- ・海外との青少年交流や学術交流等の促進
- ・留学生の受入れや外国人も暮らしやすい多文化共生社会づくりの促進

- ・学校・家庭・地域の連携による道德教育・人権教育の推進
- ・いじめ防止に向けた、アンケートやネットパトロールの実施、教育相談体制の充実
- ・特別支援学校と地域の小中学校との交流及び共同学習の推進

- ・子どもたちの望ましい運動習慣の確立と体力の維持・向上に向けた取組の推進
- 新 地域人材の活用による学校体育の充実と運動部活動への支援
- ・関係機関との連携による健康教育と食育の更なる充実

- ・教職員のキャリアステージに応じた研修、個別課題に対応した多様な研修の実施
- ・能代地区専門系統合校の整備など高校の再編整備や改築等の推進
- 新 地域と学校をつなぐ統括コーディネーター等の地域人材の育成

- 新 専門スタッフ・外部人材の活用による学校における指導・運営体制の充実
- ・地域や関係機関と連携した学校安全教育の充実
- ・家庭教育に関する相談活動や支援チームの組織化など、家庭教育支援体制の構築

- ・グローバル人材や技術系人材を育成する公立大学法人への支援
- 新 実践的な職業教育や地域の課題解決に取り組む私立大学・短期大学・専修学校等への支援
- ・地域の医療・保健・福祉を担う人材を育成する看護系大学・短期大学への支援

- ・産業界と連携して行う専門人材育成に向けた取組への支援
- ・県内学生の確保に向けた大学教員による高大連携授業の実施
- 新 県内大学既卒者のAターンの推進

- 新 民間企業等との連携による県民の学習機会の充実
- ・学びを地域づくり等へ生かすための情報発信やネットワークづくり
- ・生活の身近な所で読書に親しめる環境づくりの推進、読書ボランティアの養成

- ・学校図書館への訪問指導の充実
- ・美術館や博物館等における多彩な展覧会の開催、セカンドスクールの利用の推進
- ・民俗芸能保存団体と学校や地域の若者の交流
- ・文化財等の保存修理、祭りや行事の伝承への支援

第3期ふるさと秋田元気創造プラン（案） 基本政策の概要について

【継続的に取り組む4つの基本政策】

基礎的な生活環境の整備など、県民の暮らしを支え、県として継続的に取り組むべき基本的な課題を、4つの分野に整理・体系化したものです。

6つの重点戦略とあわせて推進することで、県民の安全で安心な生活を支えます。

1 県土の保全と防災力強化

- (1) 災害に備えた強靱な県土づくり
- ① 中小河川における減災対策の推進
 - ② 豪雨による洪水被害や水不足への対応
 - ③ 県民の生命と財産を守る安全な地域づくり
 - ④ 災害に対応できる交通基盤体制の整備
 - ⑤ 大規模地震に備えた耐震化の推進
- (2) 地域防災力の強化
- ① 総合的な防災対策の推進
 - ② 東日本大震災等の被災地支援

ねらい

- 効果的な防災・減災対策を推進する。
- 市町村・関係機関等と連携した総合的な防災対策を推進し、地域の防災力を強化する。

4 ICTによる便利な暮らしの実現と地域の活性化

- (1) ICT利活用による県民生活の利便性向上
- ① 情報通信基盤の整備拡充
 - ② 利便性の高い行政サービスの提供
- (2) ICT利活用による地域の活性化
- ① ICTによる地域課題解決と事業化支援
 - ② 身近な分野におけるICT利活用の促進

ねらい

- 県民生活に身近な幅広い分野において、ICTの利活用を推進していく。

2 環境保全対策の推進

- (1) 地球温暖化防止と循環型社会の形成
- ① 県民総参加による地球温暖化防止活動の推進
 - ② 循環型社会の形成
- (2) 良好な環境と豊かな自然の保全
- ① 良好な環境の保全対策の推進
 - ② 三大湖沼の水質保全対策の推進
 - ③ 自然環境の保全
 - ④ 野生鳥獣の適正な保護管理

ねらい

- 県民総参加による地球温暖化対策や暮らしやすい循環型社会の形成を推進する。
- 「豊かな水と緑あふれる秋田」を将来に継承していく。

3 安全・安心な生活環境の確保

- (1) 犯罪や事故のない地域づくり
- ① 県民の防犯意識の向上と防犯活動の強化
 - ② 犯罪被害者等の支援
 - ③ 総合的な交通安全対策の推進
 - ④ 日常生活における雪対策の推進
 - ⑤ 消費者の自立や被害防止に向けた取組の充実強化
- (2) 暮らしやすい生活環境の確保
- ① 「動物にやさしい秋田」の推進
 - ② 食品や水道の安全・安心の確保
 - ③ 生活衛生事業者の育成
- (3) 安らげる生活基盤の整備
- ① 安全で利便性の高い道路環境の整備
 - ② 下水道等の普及促進
 - ③ 安らぎと潤いのある空間の創出
 - ④ 良好な居住環境の確保
 - ⑤ 良好な景観の保全と活用

ねらい

- 日本一犯罪や事故が少なく安全・安心な地域づくりを県民と一体となって進める。
- 県民が四季を通じて快適で安らげる生活環境づくりを目指す。